

❖ Information Letter 2011 Autumn

Helping you become
an effective communicator
in the international setting!

暑さも和らぎ、過ごしやすい季節になってきましたが、皆様お元気でいらっしゃいますか。

このインフォメーションレターでは、K/Hシステム主催のコースや出版物に関する最新情報をお届けします。一般公募講座や企業内研修の特集をはじめ、出版予定の書籍の内容など、詳しくお知らせします。

■ Contents

- 特集1 K/Hシステム 英語プログラム:年間スケジュール
- 特集2 『正確なコミュニケーションへの第1歩! 時制』
今期のテーマ <過去形 VS 仮定法>
- 過去形と仮定法を正しく理解しよう
- 間違いの落とし穴例
- 特集3 第7期 K/Hシステム 上級フェローシップ・プログラム
コース概要、申し込みについての詳細

特集1 K/Hシステム 英語プログラム 一般公募講座:年間スケジュール

K/Hシステム実力英語講座、2011年のスケジュールをお知らせします。年に2回実施している一般公募講座では日米の企業研修を通じて得た新しい視点やノウハウを常に反映させ、参加者の方々により効果的かつ効率的に学んでいただけるプログラムであるために改善を重ねています。年間を通じて、体系的に、着実に英語力を伸ばしていくためマイルストーンやペースメーカーとしてご活用ください。コースに関する詳細情報は: www.KH-system.com

2011年 秋季 10~11月集中コース

<実力英語講座 短期集中プログラム>

- ・10月8日~10日 [半日3日] 英語力強化 エントリーレベルコース/英語力強化 コアコース
- ・10月15・16日 [1日半] ビジコミ強化 コアコース
- ・11月 5・6日 [1日半] 中級スピーキングコース

<第7期 K/Hシステム 上級フェローシップ・プログラム> 継続者向け 4ヶ月通学型コース

- ・DAY1: 11月19日(土) 9:30-17:30
- ・DAY2: 12月10日(土) 13:00-17:30
- ・DAY3: 1月21日(土) 13:00-17:30
- ・DAY4: 2月18日(土) 9:30-17:30

*詳細は本誌 5ページをご覧ください。

来年の春季コースは、ゴールデンウィークと前後の土日に開催を予定しています。コースに関する詳細情報は、ウェブサイトをご覧ください。

今回の特集では、英語力がそれなりに高くなっても、実際の仕事のコミュニケーションでよく間違える文法の1つ「**時制**」を扱います。時制を間違えてしまう原因には、まずそれ自体の理解が曖昧であることと、そしてそれぞれの時制が活躍する場面のイメージができていないことにあるようです。英語がかなり上手くなっても、時制を間違えていると、① educated な印象にならない、② 話全体の説得力が目減りする、③メッセージが全く誤解されてしまう等のリスクがあるため、特に注意が必要です。

今期は長期企業研修等でみかける、スピーキングで間違いやすい過去形と仮定法(過去)に特化します。①まず基本的な時制を復習し、②仕事で使う場面を意識した上で、③よくある間違い例を見ていきましょう。

[1] 過去形

「過去」は、「すでに起こった(変わらない)こと」。

つまり、「既に終わったこと」「動かない事実・経験」

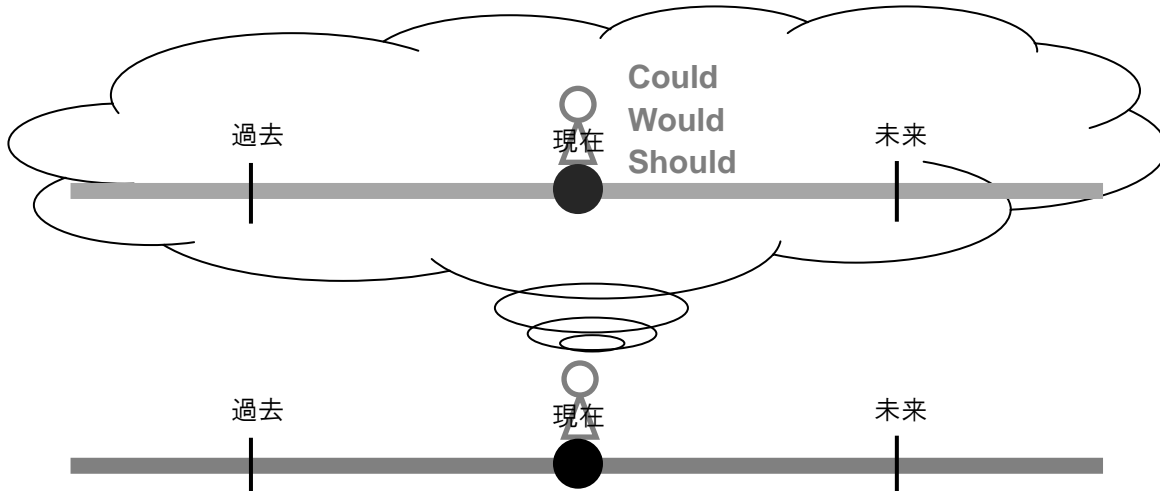


[2] 仮定法過去 …過去形ではない！使い間違いナンバーワン！

「現在」に立って、「現在の現実」とは別の、「仮想世界」を描いて話す！

≡ 頭の中だけで思い描いた「可能性」

「(こうだとしたら)こうだろうなあ、という仮説」、「考えられる状況」「想定されるシナリオ」



それぞれの時制が活躍する場面をクリアにイメージしよう！

[1] 過去形が活躍する場面

場面例

- ☑ 週末明け、休暇明けの Small Talk で、「やったこと」を話すとき
- ☑ プロジェクトの進捗報告で、「やったこと」を伝えるとき
- ☑ 問題が発生した際の状況報告で、「起こった問題」「それに対してやったこと」を伝えるとき
- ☑ 仕事に関して人にフィードバックする際、「相手がやったこと(プラス・マイナス)」に言及するとき
- ☑ 自己紹介で、「過去の経歴や実績」を話すとき
- ☑ 月次報告、四半期報告などで、終わったことの「結果」「成果」について話すとき など

EXAMPLE [自己紹介で、自分の過去の経歴を紹介]

I **was** in Sales early in my career. I **had** opportunities to meet and talk with customers in different regions. This **helped** me greatly in understanding our customers and the different needs they have.

キャリアの初めのころ、営業畑の仕事していたんですよ。色々な地域のお客様に会って、話をする機会がありました。顧客のさまざまなニーズを理解する上で非常にプラスになりました。

[2] 仮定法過去が活躍する場面

場面例

- ☑ アドバイスや提案をするとき
- ☑ 考えられる可能性やシナリオを示唆するとき
- ☑ 考えられるメリット・リスクを説明するとき
- ☑ 育成・指導・問題指摘などで、課題を前向きに伝えるとき など

EXAMPLE [考えられる案をアドバイス・提案するとき]

You **could talk** to Jim and get his input. He **would know** about the regulations pretty well, since he used to work in the Legal Department.

ジムに話して意見もらってという手もあるよ。彼なら、法務部で働いていたこともあるから、そういう法規について結構知っているだろうと思うよ。

EXAMPLE [考えられるリスクを説明するとき]

I am not sure if we should start this project now. It **would put** a considerable strain on our resources when we are already stretched thin with two new projects. It **could even create** confusion about our priorities.

今、このプロジェクトを始めるべきだと思えないんですよね。すでに新しいプロジェクトをふたつ抱えてぎりぎりなところに、かなりの負担増になるだろうと思われれます。われわれの仕事で今何が優先課題なのかについて混乱を招くことにすらなりかねません。

❖ 落とし穴ケース: 「過去形」であるべきところを「仮定法過去」にしてしまう

過去にできたことを言うつもりが、**Could + 過去(仮定法過去)**で話してしまって・・・③

「研修で得られたこと」を話したはずが、「研修をやった場合に得られる可能性のあること」の話に！

I **could really enjoy** the Global Leadership Training we had last week.

We had participants from many countries, and we all **could gain** new perspectives from each other through many discussions. President Sato also joined us from Thursday night and we **could hear** from him first hand his vision for our company's future.

So, the program **was** quite inspiring.

先週のグローバルリーダー研修、すごく楽しむこともできるよ。

色んな国から参加者が来ていたんだけど、多くのディスカッションを通して皆が互いに新しい視点を学ぶこともできるよね。社長の加藤さんも木曜の夜合流して、会社の将来についての加藤社長のビジョンについて聞くこともできるだろうし。

なかなかいい研修だったよ。

研修をやったとしたら得られるメリットの可能性を言っている？実際にやってきたわけじゃないのかな？

見本例:

I really **enjoyed** the Global Leadership Training we had last week.

We had participants from many countries, and we all **gained** new perspectives from each other through many discussions. President Sato also joined us from Thursday night and we **were able to hear** from him firsthand his vision for our company's future.

So, the program was quite inspiring.

先週のグローバルリーダー研修、すごく楽しかったよ。

色んな国から参加者が来ていたんだけど、多くのディスカッションを通して皆が互いに新しい視点を得られたよ。社長の加藤さんも木曜の夜から合流して、会社の将来についての加藤社長のビジョンについて直接聞けたしね。なかなかいい研修だったよ。

いかがでしたか？<過去形>と<仮定法過去>は特に日本人の私たちが混同しやすい時制ですが、正しい時制の理解をベースにして、かつコミュニケーションで使う場面を意識すると、使い間違いも減り、誤解も少なくなると思います。

時制を始めとした、上級者が特に意識しておきたい視点は、<中級リスニング・スピーキングコース>や<上級フェローシップ・プログラム>で主に解説や強化練習を行います。より精度の高いコミュニケーションを目指す方は上記コースの参加をチャレンジしてみてください。

英語ビジネス文化で求められる「論理明晰で 正確かつロジカルに組み立てた論をベースに

上級レベルの議論ができる英語コミュニケーション力の強化

昨年度から現在までの企業研修等で得た知見と新規開発教材の考え方を反映し、合意形成の議論に最低限必要な「前提要素」を明確に規定した上で、相手に誤解を生じさせることなく、「ロジカルに、かつ感情面も含めて」相手を説得または止揚できるように使われる「論理展開と説得の構造」と「定義の仕方」、「合意点の確認の仕方」、「アピールの仕方」などの視点とそのスキルの養成、それをベースに相手と建設的な議論ができるための実践力の強化を基本テーマにします。

K/Hシステム 上級フェローシップ・プログラムは、K/Hシステムの中級コースまで受講した方のために、上級レベルの英語・コミュニケーション力への飛躍をサポートするK/Hシステム 特別プログラムです。4ヶ月の通学型コースで、実践的な英語コミュニケーション力の養成トレーニングが中心になります。今期(第7期)は11月後半からスタートします。現在は年に1回しか開講していません。定員制限もありますので、お早めにお申込みください。参加の方は、中級コースまでに学んだ「英語の論理構造」、「丁寧表現」などの英語コミュニケーションとして前提となる基本的な考え方を復習しておくといでしょう。

□ コース概要

- コア・中級コースで学んだ英語コミュニケーション力を、スピードが求められる実践の場で十分に生かせるレベルに向上することを目的とし、「実践練習」と「レビュー」を交互に行う実践プログラムにすることを考えています。具体的には：
 - ☑ 今以上に上達するために何を改善するのが最も効果的かを明確にするために、初日には、個別に＜英語コミュニケーション力のアセスメント＞を行い、課題を明確にします。次に、4か月間の実践練習におけるフォーカス分野を設定します。講師陣はそれをベースに、コース中の実践練習時に随時個別アドバイスを行いながら4ヶ月の目標達成をサポートします。
 - ☑ コース期間中は上記の個別課題の克服と個別目標の達成のために「パフォーマンスの録音⇒自分の英語の問題の把握⇒対策立案⇒練習⇒発表・・・」を繰り返していきます。個人学習では避けてしまいがちな「自分のスピーキングを聞き、苦手な部分を具体的に特定し、それを強化するPDCA学習サイクル」を皆で継続的に回します。
- アウトプットを意識して、質の高い英語をコンスタントにインプットすることで、スピーキングの英語の品質を大きく向上させることを狙います。その目的で、フェローシップ・プログラム恒例のビジネス洋書のリーディングと、毎回のブックレポートも課題で出されます。必要に応じて「プレゼンテーション」練習も行います。
- アメリカの討論番組などの議論の場面で頻出する上級構文を、パターンごとに整理した K/H 教材『1001本ノック』(既習者用にCD5以降の追加版を提供)を使った実践トレーニングを行います。まずは聞き取り練習から始め、段階的にスピーキングでの応用も目指します。
- 英語で建設的な議論をするための上級視点が詰まった、新規開発教材『議論のための上級視点』も使用します。具体的には、議論の上で互いの主張点を明確に理解するためのポイント、相手に自案のアイデアをクリアにイメージしてもらい賛同を得るためのコツ、前もって信頼関係を構築しておくための工夫等、建設的議論に必須の工夫ポイントを学習します。また、色々な議論のテーマを設定し、学習したポイントの実践練習も行います。

🗣️ 参加者の声

「実践的で、スピード感のある構成が大変魅力的だった」「課題も多く、いいペースで継続学習のモチベーションを維持できた」「参加者の意識が高く、レベルが高いので大いなる刺激を受けた」「自分の実力を再認識できたため、目標に向かって後どれくらい努力しなければならぬのか考えることができた」「英語だけでなく、国際的に仕事をするための考え方を教えてもらって大変良かった」

- **受講資格： 主な K/H システムのコースに 4コース以上参加された方(または 3コース+旧 通信講座を受講された方)**
 - TOEIC 750点以上 (それ未満の方はご相談ください)* / K/H システム長期企業研修コースに参加された方も対象

*レベルや受講コースなどに関するご質問があれば、遠慮なくお問い合わせください。
- **定員： 16名まで**
- **日程： 11/19(土)・12/10(土)・1/21(土)・2/18(土)*** (* 11月と2月は9:30-17:30、12月と1月は13:00-17:30)
- **長期リピーター特別価格： 49,000円(税込)**
- **申し込み方法： 下記のいずれかの方法でお申込みください。**
WEB: www.kh-system.com ⇒ トップページ [フェローシップ・プログラム 申込] / 電話:03-3883-2262
- **問い合わせ先： K/H コミュニケーションズ 宇都宮 (Email: support@kh-system.com またはお電話でご連絡ください)**